

記録

フィルム
カラー／50分
日・英・仏・独・伊・
葡・西・中・アラビア・
タイ・インドネシア・
ハンガリー（マジカル）
語版

■企画

（財）ポーラ伝統文化
振興財団

■監修

田口和夫（文教大学
教授）
荻原達子（能楽プロ
デューサー）

■協力

国立能楽堂 宝生能
楽堂 法政大学能楽
研究所 観世文庫
河鍋晓斎記念美術館
MOA美術館
吉越立雄 亀田邦平
能楽座 萬狂言

スタッフ

■製作

村山正実

■脚本・演出

村山正実

■撮影

西山東男

■照明

藤来義門

■録音

堀内戦治

■編集

吉田栄子

■ネガ編集

加納宗子

■選曲

山崎 宏

■録音スタジオ

アオイスタジオ

■現像

ソニーPCL

■解説

加賀美幸子

文部省選定 第1回文化庁優秀映画大賞 2000年教育映像祭優秀作
品賞 毎日映画コンクール記録文化映画賞 優秀映画鑑賞会推薦
日本映画ペンクラブノンシアトリカル部門第2位 1999年キネマ旬
報文化映画ベスト・テン第2位

現代の和泉流を代表する狂言方能楽師、七世野村万蔵（のむらまん
ぞう 現・初世野村萬）の魅力あふれる舞台を通して、「狂言とは
何か」、さらには万蔵の後継者への芸の伝承の稽古も見ながら、狂
言の「技とこころ」を記録し、万蔵の技と人となりを伝える。

■出演

初世野村 萬（人間国宝・七世野村万蔵）
五世野村万之丞 二世野村与十郎 二世野村祐丞 二世野村万禄
増田秋雄 小笠原 匡 井関義久 久保克人 野村晶人 橋本勝
利 安田龍雄 野村太一郎 野村虎之介
四世茂山千作（人間国宝）
笛：一噌仙幸 小鼓：北村 治 鶯沢洋太郎 坂田正博
大鼓：亀井忠雄



重要無形文化財「狂言」各個認定保持者（人間国宝）、七世野村万
蔵（現・初世野村萬）は、戦後、観世寿夫たちと能・狂言の枠を超
えて新しい演劇の場においても中心的存在で、狂言界の新しい旗手
として活躍する。

映画はその万蔵の現在を核として、現代に生きる狂言、その伝承
のあり方まで分け入り、近代狂言の完成者としての万蔵の舞台の魅
力を記録。さらに古典・新作においても、常に創意・工夫を怠らな
い万蔵の日常も紹介する。

万蔵の舞台における大きさ、「大竹のごとくあれ」という家訓に
ふさわしい〈大名〉の演技や、愛嬌があっても崩れない〈太郎
冠者〉の演技にも万蔵の魅力があらわれる。そのような万蔵の魅力
が、どのように次世代に受け継がれていくのか、狂言の伝承の厳し
さも、孫の太一郎を薫陶する映像の中に知ることができる。